

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 22名（平成27年3月31日現在）																																	
収支実績	収入	支出	収支差額																															
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>経常活動</td> <td>81,669,414円</td> <td>経常活動</td> <td>78,386,150円</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">3,283,264円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td>59,590,608円</td> <td>人件費</td> <td>53,839,021円</td> </tr> <tr> <td>川崎市独自扶助</td> <td>18,426,021円</td> <td>事務費</td> <td>11,293,989円</td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料</td> <td>77,349円</td> <td>事業費</td> <td>7,023,140円</td> </tr> <tr> <td>経理区分間繰入金</td> <td>200,302円</td> <td>会計単位間繰入金</td> <td>6,230,000円</td> <td>※指定管理料</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,375,134円</td> <td>施設整備等</td> <td>0円</td> <td>77,349円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>81,669,414円</td> <td>合計</td> <td>78,386,150円</td> <td></td> </tr> </table>	経常活動	81,669,414円	経常活動	78,386,150円	3,283,264円	給付費	59,590,608円	人件費	53,839,021円	川崎市独自扶助	18,426,021円	事務費	11,293,989円	指定管理委託料	77,349円	事業費	7,023,140円	経理区分間繰入金	200,302円	会計単位間繰入金	6,230,000円	※指定管理料	その他	3,375,134円	施設整備等	0円	77,349円	合計	81,669,414円	合計	78,386,150円		
経常活動	81,669,414円	経常活動	78,386,150円	3,283,264円																														
給付費	59,590,608円	人件費	53,839,021円																															
川崎市独自扶助	18,426,021円	事務費	11,293,989円																															
指定管理委託料	77,349円	事業費	7,023,140円																															
経理区分間繰入金	200,302円	会計単位間繰入金	6,230,000円		※指定管理料																													
その他	3,375,134円	施設整備等	0円		77,349円																													
合計	81,669,414円	合計	78,386,150円																															
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを含め重度の利用者を多く受け入れ、生産・創作・余暇の活動それぞれにおいて個別のアレンジを加え、すべての利用者が身体機能や日常生活能力の維持・向上に、楽しみながら取り組み、安心して地域生活を送れる支援を工夫している。 ・また、家族等と顔を合わせる時間を多く確保し、利用者についてのやり取りを頻繁に行った結果、選ばれる施設となってきており、2名の新規利用者が新たに通所を開始した。 																																	

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
（評価の理由） ・重度障害を含めた各利用者の個別状況に的確に対応するため、専門機関から指導を受け、また専門研修を受講し、それを全職員で共有することを続けている。支援事例の少ない障害の支援に関する取組を続けた結果、利用開始当初と比較して精神的・情緒的安定に向かいつつある。 ・開所後4年が経過し、当初、家族等との意思疎通でトラブルや苦労があったが、朝夕の送迎時に必ず利用者の様子等についてのやり取りを継続し、施設や活動内容を知ってもらえることができ「意見交換」から「おしゃべり」へと関係が深まった結果、利用者が施設・在宅それぞれで精神的に安定して暮らせる環境が構築されつつある。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
（評価の理由） ・川崎市独自扶助をはじめとした給付費収入の増加や職員体制の見直しによる人件費の減少のため、昨年に引き続き単年度黒字である。 ・給付費の請求についても遅滞なく行われ、適切な会計手続が行われている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	5	5
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4	
	利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
（評価の理由） ・利用者のお好みとニーズに合ったプログラムを提供している中で、手作業よりも体を動かす活動に対する希望が増えてきていることに合わせ、ボールプール・ストラックアウト等、身体機能や前向きな気持ちを引き出す工夫を続けている。自力で円盤を投げられなくても手を添えて形を取るだけでも参加意欲につながっている。また、スヌーズレン等、感覚を刺激しリラックスを目的としたプログラムも、既存のものをそのまま利用するのではなく利用者に合わせて独自の工夫を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	5	5
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人の内部研修(神奈川県大和市中心)が受講しにくい立地であるが、研修内容を全職員で共有することを継続しており、限られた情報を全体で活用する仕組みを整えている。 ・複数種類の、支援事例の少ない障害を有する利用者、専門機関の助言を得ながら積極的に受け入れ、障害支援の新たな分野を切り開くべく先駆的に取り組んでいる。 ・地域で行われる防災訓練に、要援護者移送訓練担当として参加し、地域の一員としての役割を果たし、また障害があっても当たり前地域で暮らしている人の存在を、参加者に知ってもらうことを大切に考えている点は評価できる。 ・ヒヤリハットは、起きた日にその原因を検証し、全職員で共有することを徹底しており、事故は0件であった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。 ・外溝の清掃は、職員自身が定期的に行い、美観を損なわないよう努めている。なお、施設内の清掃に関して、障害のある清掃員を直接雇用しており、「サービスを受ける対象としての障害者」という一面に意識が偏らないように考えられていることは評価できる。 				

4. 総合評価

評価点合計	74	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準::C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・利用者支援や家族等との意思疎通等を的確かつ迅速に行うため、定例の会議にとどまらず、必要に応じて職員がすぐに集合することにより、起きていることを共有し問題に対して全職員で結論を出して取り組む体制をとっている。

・地域で暮らしている様々な立場の人がお互いを知るための活動として、上階にある老人いこいの家の祭りで創作品の販売を行って好評を得ており、また複数の防災訓練に参加し、地域に知られる施設となっている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・利用者満足度調査を実施して意見・要望の収集方法を拡充し、それに基づく課題の抽出・取組・結果の分析の仕組みを定着させること。

・重度かつ支援方法未確立な障害のある利用者の受入れを積極的に行っていることについては評価できるが、30名の定員を充足することについては引き続き努力が求められる。